

かおしず道柔

第20号

平成29年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒431-3114 浜松市東区積志町1503 伊藤武治
TEL 090-1473-4136 FAX 053-589-3000
http://www.geocities.jp/shizuokajudo/

【巻頭言】

「雑感」

静岡県柔道協会副会長 八段 高田 和夫



平成二十六年四月より高田勝之先生の後任として東部地区幹事長に推挙され、早三年が経とうとしています。

こうして無事ここまでこられたのは、特に東部の役員の方々の支えと柔道協会すべての皆様のおかげだと感謝しています。

県柔協のこと

平成二十六年四月より野田会長の体制になり、協会の組織改革と役員改選が行われました。今までの協会が永く続けてきた組織・運営方法などを刷新したもので、なんとなく違和感を持たれたのではないのでしょうか。

平成二十九年からこの組織の二期目に入り、まだまだ新しい組織作りが続きます。皆様の意見が反映されるような組織でありたいし、それを皆様が見ていることだと

思います。皆様と一緒に努力したいと思っています。

リオ五輪から思うこと

リオオリンピックでは、日本選手が大活躍し、今までのメダル獲得数を更新した大会でした。特に大野将平選手（73kg）の決勝で、じつと一点を見つめ優勝を噛み締めている姿に「日本柔道の美しさ」と謙虚さ」を見たのは私だけでしょうか。

他競技では、銅メダルでも高く評価され、日の丸を背負ってウイニングランやインタビューを受ける姿をテレビで見ます。ところが金メダルを取ることが期待される柔道では、マスコミが特集し、人々もそれにより更に期待を高めていきます。そんなプレッシャーの中で選手は戦い、優勝しないとまるでダメ人間のように見られ、すばらしい銅なのに泣きながら「すいません。」と謝る選手がいました。今は、決勝に行けなくても銅メダルを取るため貪欲に執念の戦いをしています。それは、メダル奪取のためにプライドと責任を持つことと選手もスタッフも理解するよ

うになったからだと思います。そんなひたむきに金メダルを取りに行く柔道選手の姿を見て、人々は「畏敬の念」を抱いてくれるのだと確信しています。

柔道人口減少のこと

いろいろな大会の参加選手が年々減少しており、その減少に歯止めが効きません。柔道人口の減少に更に追い打ちをかけたのが、度重なる全柔連の失態、それと毎年おきる重大な事故や死亡事故などです。「柔道は危険なもの」として社会からレッテルを貼られ、少子化の社会の中で危険なスポーツから我が子を遠ざけたい保護者は、「教育としての柔道」の位置づけよりも危険回避を選択するのです。

指導者は、あらゆる知識をもって怪我からの回避を最優先にすべきです。そういう意識で指導に臨んでいれば、怪我が出たとしても、その時は最小限で済むはずで、柔道が安全なものであるとの認識を社会に植え付けなければ、せっかくオリンピックや他の大会などで社会的評価を得ても柔道人口増加には繋がらないような気がします。

もう一つの減少の理由は、柔道人口を支える少年達の減少です。柔道は、少年達にとってマイナーなスポーツとして位置づけられて

いるにもかかわらず、指導者は、旧態依然の「去る者は追わず、来る者は拒まず。」式な道場運営をしています。

それと同時に、せっかく柔道をやってくれている子供達に、勝つことだけを指導して、本来教えるべき礼節や品格をおろそかにしている所が多くなってきたように思います。

厳しさばかりでは、子供は嫌気がさし、次のステップアップを止めてしまします。もともと遊ばせながら柔道の本質を教え、自然発生的に柔道が強くなりたいと思う時期まで待つことの大事さを知るべきです。

柔道を支えているのは、実は道場の先生方（指導者）です。そして、柔道人口の増減の鍵を握るのも道場の先生方ではないでしょうか。道場運営・練習内容など意識改革をし、もう一度見直すことで子供達の増加に繋がるかもしれません。

協会としても、私たちにできる勧誘の方法（新聞掲載・勧誘ポスターの店頭への貼付依頼など）をしなければいけないのではないかと思います。

以上、取り留めのない雑感として、御容赦いただきたい。

最後に、皆さんの御協力をもって静岡県柔道協会が更に発展していきますようお願い申し上げます。

第 71 回 国民体育大会柔道競技 報告

第 71 回国民体育大会柔道競技は、平成 28 年 10 月 8 日から 10 日までの間、岩手県久慈市久慈市民体育館において開催されました。

東海ブロック予選では、成年女子が優勝して出場枠を獲得することができ、昨年同様、成年男子・成年女子の 2 チームの出場となりました。

成年男子

今回の成年男子は、実績のある県警三選手に強豪大学で主軸として活躍する山田選手・小林選手の二名を加えた五名で平均年齢 24 歳の若いチーム構成となりました。

昨年の和歌山国体を教訓に選手には先のこととは考えず、初戦の岡山戦に集中して「初戦突破」を目標に置き大会に臨みました。

岩手国体スタッフ

強化部長	石川 裕章	石川接骨院
総監督	古川 隆士	古川管財 (株)
トレーナー	赤池 理	アカイケ鍼灸接骨院

成年男子

監督	根本 哲郎	静岡県警察
先鋒 (60kg 級以下)	小林 大貴	中央大学
次鋒 (73kg 級以下)	大木 恭介	静岡県警察
中堅 (90kg 級以下)	山田 知輝	帝京科学大学
副将 (90kg 超級)	滝川 英克	静岡県警察
大将 (無差別)	増田 圭省	静岡県警察

成年女子

監督	渡辺 達也	静岡県警察
先鋒 (52kg 級以下)	金田 結花	VILLAGE
中堅 (70kg 級以下)	村山のどか	筑波大学
大将 (無差別)	村瀬 晴香	ヤックス



静岡県 2-1 岡山県

先鋒 小林大貴 (中央大学) ⑧
― 守安大介 (岡山県警察)

ここで何としても一勝を掴みとることが戦略であった。小林、喧嘩四つと引手が取れない中、背負投を中心に果敢に攻め続け、残り時間 50 秒に指導① (偽装攻撃)、ラスト 20 秒に指導② (消極的) を奪い見事勝利しチームに勢いを呼び込んだ。

次鋒 大木恭介 (県警) ①〇山崎奨太 (三菱化学)

先鋒が勝利し勢いに乗ると思われたが大木の動きが硬い。開始 30 秒、大木が内股を掛けて潰れたところを十字固から上四方固に変化され、そのまま抑え込

まれ、まさかの一本負けと静岡にとって手痛い一敗となった。

中堅 山田知輝 (帝京科学大学) ①〇安達健太 (東海大学)

続く、山田は、開始早々に指導① (片襟) をもらう。試合中盤、山田は、奥襟を取りたいがなかなか取らしてもらえない中、強引に片襟から大外刈を掛け、相手が裏投げに返そうとしたところを、山田、さらに大内刈で切返し技有を先取する。ここで「合議」試合が一時中断、山田の掛けた大内刈が一本ではないかと審議、ビデオ確認をするが判定は覆らず技有、残り試合時間 2 分で再開となる。

山田、奥襟を取ろうと半身になったところを強引に潰され寝技に持ち込まれ肩固に変化し抑え込まれ逆転負けとなる。

2 対 1 と岡山県リード、副将戦を絶対に勝利しなければならぬ状況に追込まれた。

副将 滝川英克 (県警) × 都築上志 (岡山商科大学)

副将戦、滝川が勝たなければ敗戦が決まる試合となった。開始 1 分、相手が前に出てきたところ真直ぐ下がってしまい指導① (場外) をもらう。

相手選手も引分以上でチームが勝利するため、なかなか組み

合わず攻めて来ない。

中盤、滝川、両襟から内股を繰出し攻め指導① (消極的) を取り返す。その流れで後半攻め続けると思われたが、逆に慎重になり技が出ずタイムアップとなり、静岡の初戦敗退が決まった。

大将 増田圭省 (県警) ①〇美濃大将 (岡山商科大学)

この時点で静岡の敗戦が決定的だが、増田が意地を見せてくれた。

相手選手がなかなか組んでこない中、増田、片襟から左右の背負投を繰出し主導権を握る。残り試合時間 2 分 30 秒、相手が奥襟を取りに来たところを強引に裏投げに切返し一本勝ち。静岡の意地を見せてくれた。

先鋒戦で勝利したものの次鋒戦以降の選手が実力を出し切れず、チームに流れを持って来ることが出来ずに敗戦してしまつたと言うのが実感です。

団体戦の鉄則は「負けないこと」。それぞれの粘り・頑張り、次の選手に気持ち移り、チームに活気・良い流れが生まれ勝利に繋がると思う。

団体戦で、個人戦の様な勝つか負けるかの一発勝負をしていてはチームは勝ち上げません。

団体戦は我慢比べです。如何に気持を切らさず集中し、自分の仕事を熟すことが大切です。

今後の課題として、全国クラスの大会で肩を並べ戦うには寝技強化が先決で、寝技で一本取れる自分の形(パターン)を持つていなくては、他県選手と対等に戦えないと感じました。

更に研究・対策を重ね東海地区予選を勝ち上るチーム作りに励みたいと思います。

平成29年度から成年男子も東海地区予選からの出場となり、東海地区を勝ち上がるには、大学・高校生等の若手選手の強化を早急に図る必要があると思われま

特に県体重別選手権大会への大学生等多くの参加者で競い合うことで最強・最高の静岡県チームが誕生するのではないかと思います。また、代表選手には静岡県の代表という誇りを持ち、大会に臨んでほしいと思っております。

関係各位に感謝申し上げますと共に、平成29年愛媛国体出場を誓い、大会結果の報告とさせていただきます。

(文責 静岡県警察 根本哲郎)

成年女子

8月に開催された東海ブロック大会では、愛知県とは引き分



けたものの勝者数差により4県による接戦を制し、本大会出場を獲得しました。本県の成年女子は、昨年本大会出場を果たしたメンバーから中堅及び大将が入れ替わり、2年前の準優勝を超える成績を目標に臨みました。

静岡県0-2茨城県

過去7回優勝実績のある茨城県との対戦となった。

先鋒(52kg以下)の金田結花(VILLAGE)は、試合開始から積極的に技を繰り出すも後半相手の組み手が勝り、劣勢となったところを2回指導を受けて僅差負け。

中堅(52kg超70kg以下)の村山のどか(筑波大学4年)は、

同じ大学の選手同士ということでの手の内を知られていることから技を掛けるもうまくかわされ膠着状態のまま試合終了し、引き分け。

大将(無差別)の村瀬晴香(千葉薬品)の相手は、筑波大学の主力選手であるがそれに臆せず積極的に攻めるも技を不用意に受けてしまいそのまま崩上四方固で抑えられ一本負け。

チームは、0対2で敗退。茨城県は、そのまま勝ち上がり10年ぶり8度目の優勝となった。

自分の力を出し切れれば勝っていた試合もあっただけに自分の柔道を出し切る強い精神力と勝負へのこだわりというものが足りなかったのではと感じております。

来年度は、成年女子と少年女子が統合されることが決定していることから、更に精進を重ね最強・最高のチーム作りに励みたいと存じます。

関係各位に感謝を申し上げますとともに平成29年の活躍を誓い、大会結果の報告をさせていただきます。ありがとうございます。

(文責 静岡県警察 渡邊達也)

第37回国体 東海ブロック大会

平成28年8月21日(日) 愛知県名古屋市内 少年男子

監督 小柳津敬博 (東海大学静岡翔洋高校)

コーチ 渡部直樹 (静岡学園高校)

先鋒 岡本龍司 (静岡学園高校)

次鋒 渋谷恭英 (東海大学静岡翔洋高校)

中堅 佐藤威基 (東海大学静岡翔洋高校)

副将 米山竜平 (東海大学静岡翔洋高校)

大将 川井康平 (静岡学園高校)

補欠 高木一石 (湖西高校)

成年女子

監督 渡辺達也 (静岡県警察)

先鋒 金田結花 (VILLAGE)

中堅 村山のどか (筑波大学)

大将 村瀬晴香 (ヤックス)

少年女子

監督 渡部直樹 (静岡学園高校)

コーチ 古内千夏 (東海大学静岡翔洋高校)

先鋒 渋谷舞 (東海大学静岡翔洋高校)

中堅 杵淵萌 (東海大学静岡翔洋高校)

大将 伊藤七海 (藤枝順心高校)

補欠 安竹真利奈 (東海大学静岡翔洋高校)

補欠 澤崎莉子 (東海大学静岡翔洋高校)

少年男子

静岡県3-1三重県
静岡県3-1岐阜県
静岡県0-1愛知県
2勝1敗 2位 愛知県が本大会出場

成年女子
静岡県2-1三重県
静岡県2-0岐阜県
静岡県0-0愛知県

2勝1分 得点差により1位
静岡県が本大会出場
少年女子
静岡県2-1三重県
静岡県2-0岐阜県
静岡県1-1愛知県

2勝1分け 内容差で2位
愛知県が本大会出場

第58回 静岡県柔道祭開催

平成28年11月20日(日) 午前9時30分開始

静岡県武道館

昨年からの静岡県柔道祭は秋の実施となり、今年も県武道館で開催された。静岡県柔道協会会長の野田昭一会長のあいさつに続き、今年には和道場の森近さんにより選手宣誓が行われた。森近さんは平成28年度全国小学生学年別柔道大会5年女子40kg級3位に入賞した選手である。森近さんの選手宣誓に続き、恒例の柔道協会表彰が行われ、次の方々が表彰された。

《特別功労賞》

該当者なし

《永年功労賞》

該当者なし

《功労賞》

北村光広 六段



宮本哲也 六段
尾高 浩 六段
菊地勝義 五段
岡村和幸 五段
植松憲雄 四段
亀尾信太郎 三段

《優秀指導者賞》
該当者なし

《優秀選手賞》
伊藤七海 女子初段(藤枝順心高校)
平成 28 年度全国高等学校柔道選手権大会女子 78 kg 級 2 位
袴田佳名瑚 女子初段(藤枝順心高校)
平成 28 年度全国中学校柔道大会女子 52 kg 級 2 位

百田久佳 女子初段(藤枝順心高校)
平成 28 年度全国中学校柔道大会女子 57 kg 級 3 位
米川明穂 女子初段(藤枝順心高校)
平成 28 年度全国中学校柔道大会

会女子 70 kg 超級優勝
森近 颯(和道場)

平成 28 年度全国小学生学年別柔道大会 5 年女子 40 kg 級 3 位

今年度も表彰に続き「形」の演技が披露された。講道館護身術の形が浜北の取一瀬誠七段、受竹内紀久夫七段によって行われた。その後一斉に試合が開始された。毎年のことではあるが、小学生から一般まで県内の柔道選手が一同に集まる唯一の大会で、観客席から大きな声での声援が送られ県武道館は大いに盛り上がっていた。

第 58 回静岡県柔道祭成績

小学生の部

優勝 伊豆長岡柔道会
2 位 富士共栄道場
3 位 藤枝柔道倶楽部
田代道場

中学男子の部

優勝 浜松市立高台中学校
2 位 育成館道場
3 位 東海大学静岡翔洋中学校
静岡学園中学校

中学女子の部

優勝 東海大学静岡翔洋中学校
2 位 藤枝順心中学校
3 位 浜松市立積志中学校
静岡市立青島中学校

高校男子の部

優勝 日本大学付属三島高校

2 位 東海大学付属静岡翔洋高校
3 位 浜松商業高校
加藤学園高校

高校女子の部

優勝 東海大学静岡翔洋高校
2 位 藤枝順心高校
3 位 富士市立高校
沼津市立高校

一般の部

優勝 高柳喜一商店
2 位 静岡産業大学
3 位 富士市柔道会
東海翔柔クラブ

優秀選手

小学生の部

岡本剛道(伊豆長岡柔道会)
木内銀平(富士共栄道場)

中学男子の部

鈴木功織(高台中学校)
宇津山英弥(育成館道場)

中学女子の部

杉山月流(東海大学静岡翔洋中学校)
百田久奈(藤枝順心中学校)

高校男子の部

重田幸大(日大三島高校)
米山竜生(東海大学静岡翔洋高校)

高校女子の部

杉山奈那(東海大学静岡翔洋高校)
山上春奈(藤枝順心高校)

一般の部

佐々木悠真(静岡産業大学)
坂中慎吾(高柳喜一商店)

第 28 回 マルちゃん杯 中部少年柔道大会
平成 28 年 6 月 5 日(日)
浜北総合体育館「グリーンアリーナ」

試合に先立ち 6 月 4 日(土)に恒例の柔道教室が実施された。講師は東海大学上水研 一郎先生と杉本美香先生だった。

上水先生の講義に続き、実技の指導が行われた。体落とし等各先生方の得意技を中心に指導していただいた。

翌 5 日の日曜日には、いよいよ本番の大会が行われた。地元静岡県からの出場チームが多かったものの、中部各県から小学生 58 チーム、中学生男子 72 チーム、中学生女子 49 チームの参加があり、グリーンアリーナは満員だった。

白熱した好試合が続き、一日中体育館は熱気に包まれた。愛知県勢の強さが目立ち、小学生の部では羽田野道場、中学生の部では男女とも大成中学校が優勝した。静岡勢では小学生の部で富士共栄道場が 3 位に入賞し、中学生男子の部では引佐南部中学校が 5 位に入賞し全国大会出場を決めた。また、中学校女子では地元浜北中部中学校が 3 位入賞を果たした。

優秀選手には富士共栄道場の加藤想大君、浜北中部中学校の松野愛瑠さんが選ばれた。敢闘

賞である佐藤五八郎杯には富士共栄道場の木内銀平君、引佐南部中学校の安間俊太君、浜北中部中学校の鈴木夢乃さんが選出された。

各種大会の報告

平成 28 年度全日本柔道選手権大会、第 31 回皇后杯全日本女子柔道選手権大会 東海地区予選

平成 28 年 3 月 6 日(日)

浜松市武道館

男子

平井亮輔(東海大学静岡翔洋高校教諭) 予選リーグ敗退
小椋俊彦(静岡県警察) 予選リーグ敗退

女子

水野瑚春(藤枝順心高校) 決勝リーグ敗退
伊藤七海(藤枝順心高校) 決勝リーグ敗退 本大会出場ならず

形競技大会

平成 28 年 3 月 5 日(土)

講道館護身術の形

一瀬 誠 竹内紀久夫
(浜北柔道協会)

五の形

小林賢治 小笠原淳
(富士市柔道会)

第36回 静岡県少年柔道団体選手権大会

平成28年2月28日(日)

静岡県武道館

- 優勝 伊豆長岡柔道会
- 2位 富士共栄道場
- 3位 和道場
- 3位 柔好会
- さわか賞
- 渡辺大虎(伊豆長岡柔道会)
- 木内銀平(富士共栄道場)
- 飯田叶輝(和道場)
- 安竹克海(柔好会)
- 高森誠悟(藤枝柔道俱樂部)
- 古賀一誠(富士市柔道会)
- 青木 明(清水柔道俱樂部)
- 外岡叶芽(田代道場)

第38回 全国高等学校柔道選手権大会

平成28年3月19日(土)20日(日・祝)

日本武道館

- 男子団体
- 1回戦 静岡学園高校○(1人残し) 盛岡中央高校(岩手)
- 2回戦 静岡学園高校(4人残し) ○日体 荘原高校(東京)
- 女子団体
- 1回戦 藤枝順心高校1-0 国東高校

(大分) 2回戦 藤枝順心高校2-0 桐蔭学園高校(神奈川)

3回戦 藤枝順心高校2-0 常盤高校(群馬)

準々決勝 藤枝順心高校1-0 川口総合高校(埼玉)

準決勝 藤枝順心高校0-2 敬愛高校(福岡)

男子個人 3位入賞 岡本龍司(静岡学園高校)

60kg級 初戦敗退 長屋 涼(加藤学園)

73kg級 初戦敗退 石川 大(東海大学静岡洋校)

81kg級 準々決勝進出 5位 川井康平(静岡学園高校)

無差別級 3回戦進出 女子個人

48kg級 初戦敗退 安食亜美(藤枝順心高校)

52kg級 初戦敗退 竹内智紗子(浜北西高校)

57kg級 初戦敗退 金本 唯(藤枝順心高校)

63kg級 初戦敗退 杵渕 萌(東海大学静岡洋校)

無差別級 準々決勝進出 5位 伊藤七海(藤枝順心高校)

準々決勝進出 5位

皇后杯全日本女子柔道選手権大会

平成28年4月17日(日)

横浜文化体育館

2回戦 伊藤七海(藤枝順心高校)1-0 橋高朱里(金沢学院大学)

全日本柔道選手権大会

平成28年4月29日(金・祝)

日本武道館

第36回全国少年柔道大会

平成28年5月5日(木・祝)

講道館

予選リーグ 1回戦 伊豆長岡柔道会3-1 時習館(岩手県)

2回戦 伊豆長岡柔道会2-0 大和柔心館(奈良県)

決勝トーナメント 1回戦 伊豆長岡柔道会0-5 有朋柔道塾(広島県)

第63回東海高等学校総合体育大会柔道競技

平成28年6月18日(土)19日(日)

- 男子
- 60kg級 優勝 岡本龍司(静岡学園高校)
- 73kg級 2位 渋谷恭英(東海大学静岡洋校)
- 81kg級 3位 田倉淳ノ介(加藤学園高校)
- 90kg級 3位 杉本誠太(藤枝明誠高校)
- 優勝 佐藤威基(東海大学静岡洋校)
- 100kg級 3位 米山竜生(東海大学静岡洋校)
- 100kg超級 3位 川井康平(静岡学園高校)
- 女子
- 48kg級 3位 高木一石(湖西高校)
- 52kg級 3位 河野涼子(加藤学園高校)
- 57kg級 3位 山上春奈(藤枝順心高校)
- 63kg級 3位 竹内智衣子(浜北西高校)
- 優勝 杵淵 萌(東海大学静岡洋校)
- 70kg級 3位 安竹真利奈(東海大学静岡洋校)
- 78kg級 優勝 伊藤七海(藤枝順心高校)
- 78kg超級 3位 扇塚みのり(富士市立高校)

全日本ジュニア柔道体重別選手権静岡県大会

平成28年7月2日(土)

静岡県武道館

- 男子
- 55kg級 秩父良亮(静産大)
- 60kg級 岡本龍司(静岡学園高校)
- 66kg級 長屋 涼(加藤学園高校)
- 73kg級 飯川夢二郎(静岡県警察)
- 81kg級 石川紘太(加藤学園高校)
- 90kg級 佐藤威基(東海大学静岡洋校)
- 100kg級 米山竜生(東海大学静岡洋校)
- 100kg超級 川井康平(静岡学園高校)
- 女子
- 44kg級 吉田 韻(富士市立高校)
- 48kg級 渋谷 舞(東海大学静岡洋校)
- 52kg級 河野涼子(加藤学園高校)
- 57kg級 山上春奈(藤枝順心高校)
- 63kg級 杵淵 萌(東海大学静岡洋校)
- 70kg級 安竹真利奈(東海大学静岡洋校)
- 78kg級 澤崎 莉子(東海大学静岡洋校)
- 78kg超級 外山紗奈(東海大学静岡洋校)

なお、東海大会は7月10日(日)静岡県武道館、全国大会は9月10日(土)11日(日)埼玉県にて開催された

東海地区「形」競技会

平成 28 年 7 月 3 日 (日) 静岡県

投の形 渡辺成也 佐藤邦洋

極の形 森田賢一 猪又 功

柔の形 小椋俊彦 鈴木慎一

講道館護身術 佐野宏明 岡村和幸

一瀬 誠 竹内紀久夫

五の形 小笠原淳 小林賢治

古式の形 渡辺達也 磯部正博

東海地区優勝 全国大会出場

平成 28 年度静岡県成年柔道
体重別選手権大会

平成 28 年 7 月 18 日 (月・祝)

静岡県武道館

成年男子

60 kg 級 小林大貴 (中央大学)

73 kg 級 大木恭介 (静岡県警察)

90 kg 級 山田知輝 (帝京科学大学)

無差別級 増田圭昌 (静岡県警察)

成年女子

52 kg 級 金田結花 (VILLAG)

70 kg 級 村山のどか (筑波大学)

無差別級 村瀬春香 (ヤックス)

第 65 回全国高等学校柔道大会

平成 28 年 7 月 30 日 (土) 8 月 3 日 (水)

男子団体戦 高根県出雲市

1 回戦 静岡学園高等学校 2-1 開星

高校 (鳥根県) 内容差負け

女子団体戦 2 回戦

東海大学付属静岡翔洋高等学校

校 3-0 宮崎日大高等学校

(宮崎県) 3 回戦

東海大学付属静岡翔洋高等学

校 0-2 富士学苑高等学校

(山梨県) 男子

60 kg 級 岡本龍司 (静岡学園高校)

66 kg 級 川瀬 翔 (東海大学静岡翔洋校)

73 kg 級 渋谷恭英 (東海大学静岡翔洋校)

81 kg 級 田倉淳ノ介 (加藤学園高校)

90 kg 級 佐藤威基 (東海大学静岡翔洋校)

100 kg 級 米山竜生 (東海大学静岡翔洋校)

100 kg 超級 川井康平 (静岡学園高校)

女子 準々決勝進出 (ベスト 8)

48 kg 級 渋谷 舞 (東海大学静岡翔洋校)

52 kg 級 河野涼子 (加藤学園高校)

57 kg 級 山上春奈 (藤枝順心高校)

63 kg 級 杵渕 萌 (東海大学静岡翔洋校)

70 kg 級 安竹真利奈 (東海大学静岡翔洋校)

78 kg 級 伊藤七海 (藤枝順心高校)

78 kg 超級 外山紗奈 (東海大学静岡翔洋校)

準々決勝進出 (ベスト 8)

3 回戦進出

2 位入賞

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

初戦敗退

平成 28 年度東海中学校
総合体育大会柔道競技

平成 28 年 8 月 6 日 (土) 7 日 (日)

愛知県武道館

男子団体

2 位 浜松市立引佐南部中学校

女子団体

2 位 藤枝順心中学校

3 位 浜松市立浜北北部中学校

男子

50 kg 級 加藤遼馬 (長岡中学校)

55 kg 級 樋渡修大 (引佐南部中学校)

66 kg 級 優勝 伊藤栄都 (高台中学校)

73 kg 級 優勝 伊藤栄都 (高台中学校)

第 41 回全国教員大会

平成 28 年 8 月 6 日 (土)

講道館

監督 山崎大介 (浜松東高校)

先鋒 青木雅俊 (細江中学校)

次鋒 杉原正洋 (浜松学院中校・高校)

中堅 大場省吾 (袋井商業高校)

副将 澤木 哲 (常葉橋高校)

大将 山崎大介 (浜松東高校)

静岡県 0-4 茨城県

先鋒戦では優位に試合を進め

指導 1 つリードするも引き分け

次鋒戦は押されながらもラスト

1 分で技有を取るが、残り 30 秒

で内股で 1 本負け。中堅戦は互

角の戦いながら後半背負投げに

屈する。副将はこれまた互角の

戦いながら最後に背負いで投げ

られる。大将戦は押し込まれる

中よく戦ったが、最後は左の技

で一本負け。

各先生方がこの大会で得るこ

とができた貴重な経験を、勤務

される学校での指導に役立てて

いただければと思います。

第 47 回全国定時通信制柔道大会

平成 28 年 8 月 7 日 (日)

講道館

男子団体戦

1 回戦 静岡県 4-1 奈良県

2 回戦 静岡県 4-1 宮崎県

3 回戦 静岡県 2-2 埼玉県

代表戦勝ち

準決勝 静岡県 0-5 兵庫県

第 3 位

先 根岸大智 (小山高校)

次 鈴木隆太 (浜松大平台高校)

中 守重裕斗 (鹿島学園高校浜松校)

副 戸田 初 (浜松工業高校)

大 大川裕生 (三島長陵高校)

女子団体戦

1 回戦 静岡県 0-3 三重県

男子個人戦
 65 kg級 根岸大智(小山高校) 2回戦進出
 75 kg級 太田玲弥(富士高校) 初戦敗退
 90 kg級 守重裕斗(鹿島南高校) 2位
 90 kg超級 山口未来(倉橋園キョウ高校) 3回戦進出(ベスト8)

女子個人戦
 52 kg級 外山染季(マリア国際高校) 第5位(ベスト8)
 63 kg超級 木村タエコ(新居高校) 初戦敗退

第47回全国中学校柔道大会

平成28年8月17日(水)～20日(土) 新潟県上越市

男子団体戦
 浜松市立引佐南部中学校3 1・2四倉中学校(福島県)
 浜松市立引佐南部中学校3 1・1浅井中学校(滋賀県)
 2勝し、決勝トーナメント進出
 決勝トーナメント
 1回戦 浜松市立引佐南部中学校2 1・2鎮西中学校(熊本県)
 代表戦負け

女子団体戦
 藤枝順心中学校3 1・0小杉中学校(富山県)
 藤枝順心中学校1 1・1三重

中学校(大分県) 内容勝
 2勝し、決勝トーナメント進出
 決勝トーナメント
 1回戦 藤枝順心中学校1 1・1東松山北中学校(埼玉県) 代表戦負け

個人戦
 50 kg級 加藤遼馬(長岡中学校) 3回戦進出
 55 kg級 樋渡修大(引佐南部中学校) 3回戦進出
 60 kg級 鈴鹿功織(高台中学校) 初戦敗退
 66 kg級 伊藤栄都(高台中学校) 3回戦進出
 73 kg級 山本斗夢(海太柔道クラブ) 3回戦進出
 81 kg級 飯田空翔(引佐南部中学校) 3回戦進出
 90 kg級 大和碧瑠(観山中学校) 2回戦進出
 90 kg超級 下橋颯斗(鷹岡中学校) 準々進出進出(ベスト8)

第13回全国小学生学年別柔道大会
 平成28年8月28日(日) 三重県伊勢市

男子5年
 45 kg級 長澤拓海(藤枝柔道倶楽部) 準々決勝進出(ベスト8)
 45 kg超級 沖山 智(静岡柔道クラブ) 初戦敗退

男子6年
 50 kg級 小林勇斗(柔好会) 2回戦進出
 50 kg超級 木内銀平(富士共栄道場) 初戦敗退

女子5年
 40 kg級 森近 颯(和道場) 3位入賞
 40 kg超級 里見奏来(清水町柔道会) 2回戦進出

6年
 45 kg級 辻本栞穂(田代道場) 初戦敗退
 45 kg超級 飯田星那(和道場) 2回戦進出

全国警察柔道選手権大会
 平成28年9月6日(火) 日本武道館

男子
 66 kg級 大木恭介(静岡県警察) 初戦敗退
 66 kg級 正治和也(静岡県警察) 2回戦進出
 100 kg級 滝川英克(静岡県警察) 3回戦進出
 100 kg超級 増田圭省(静岡県警察) 2回戦進出

女子
 63 kg級 村瀬由樹 初戦敗退
 63 kg超級 兼子貴江 初戦敗退

第5回静岡県小学生学年別柔道選手権大会

平成28年9月22日(木・祝) 静岡県武道館

男子個人
 65 kg級 大川裕生(三島長陵高校) 2位
 75 kg級 白井翔祐(浜松大平台高校) 2位

男子団体戦
 浜松大平台高校 優勝
 鹿島学園高校浜松校 2位

女子個人
 90 kg級 守重裕斗(鹿島南高校) 優勝
 戸田 初(浜松工業) 2位

女子団体戦
 5年生男子軽量級 優勝 宇佐美 颯(富士共栄道場)
 5年生男子重量級 優勝 沖山 智(東部柔道クラブ)
 5年生女子軽量級 優勝 石川珠愛(心技館)
 5年生女子重量級 優勝 森近 颯(和道場)
 6年生男子軽量級 優勝 青木晃明(清水柔道倶楽部)

定通制柔道東海大会

平成28年9月11日(日) 大垣市武道館

男子個人
 65 kg級 大川裕生(三島長陵高校) 2位
 75 kg級 白井翔祐(浜松大平台高校) 2位

男子団体戦
 浜松大平台高校 優勝
 鹿島学園高校浜松校 2位

- 6年生男子中量級
優勝 福澤純之輔(大仁柔道会)
- 6年生男子重量級
優勝 木内銀平(富士共栄道場)
- 6年生女子軽量級
優勝 原田詩依菜(誠道館)
- 6年生女子中量級
優勝 原川珠緒(誠道館)
- 6年生女子重量級
優勝 飯田星那(和道場)

全国警察柔道大会

平成28年10月17日(月)

日本武道館

- 団体第2部
2次リーグ敗退
来年度2部残留 静岡県警察
- 第1試合(1次リーグ)
静岡3-2富山
- 第2試合(1次リーグ)
静岡3-1青森
- 第3試合(2次リーグ)
静岡2-3京都
- 第4試合(2次リーグ)
静岡0-5佐賀

静岡県高等学校秋季定通制
体育大会柔道競技

平成28年11月6日(日)

三島長陵高校

男子団体

- 優勝 浜松工業高校
- 2位 富士高校
- 3位 浜松大平台高校
- 鹿島学園浜松高校

第33回静岡県大学高专柔道
秋季優勝大会

平成28年12月3日(日)

静岡産業大学

- 団体の部
優勝 静岡産業大学A
- 2位 東海大学海洋学部
- 3位 西部合同チーム(常葉大学・静岡文化芸術大学・聖隷クリストファー大学)
- 3位 静岡大学
- 無段の部
優勝 鈴木健吾(静岡産業大学)
- 66kg級
優勝 熊野暢彦(東海大学海洋学部)
- 81kg級
優勝 服部 滯(静岡産業大学)

- 81kg超級
優勝 工藤史哉(静岡産業大学)
- 女子の部
優勝 石川朋佳(静岡産業大学)

第39回
全国高等学校柔道選手権大会
静岡県予選大会

平成29年1月14日(土)

静岡県武道館

- 個人戦
女子48kg級
優勝 洪谷 舞(東海大学静岡翔洋校)
- 女子52kg級
優勝 中村愛香莉(藤枝順心高校)
- 女子57kg級
優勝 山上春奈(藤枝順心高校)
- 女子63kg級
優勝 杵淵 萌(東海大学静岡翔洋校)
- 女子無差別級
優勝 澤崎莉子(東海大学静岡翔洋校)
- 男子60kg級
優勝 石川俊介(加藤学園高校)
- 男子66kg級
優勝 橋口 雄(静岡学園高校)
- 男子73kg級
優勝 小笠原一貴(藤枝明誠高校)
- 男子81kg級
優勝 鍵山 潤(日本大学三島校)
- 男子無差別級
優勝 高木一石(湖西高校)
- 団体戦

平成29年1月15日(日)
静岡県武道館

- 女子団体戦
優勝 藤枝順心高校
- 男子団体戦
優勝 東海大学附属静岡翔洋高校

平成29年3月に日本武道館で
開催される全国大会に出場する。

全日本柔道選手権大会県予選会

平成29年2月28日(土)

静岡県武道館

- 男子
優勝 飯沼元紀(静岡県警察)
- 2位 滝川英克(静岡県警察)
- 女子
優勝 伊藤七海(藤枝順心高校)
- 2位 村瀬由樹(静岡県警察)

以上の4名が全日本選手権大
会東海予選に出場する。

柔道普及活動

西部地区

第6回めばえの親子柔道教室

平成28年6月12日(日)

午後1時~午後4時

浜松市武道館



今年の西部地区親子じゅうどう教室は6月12日(日)に例年通り浜松市武道館で開催された。静岡文化芸術大学の溝口先生に加えて今年度はフランス柔道ジュニアコーチのアブデラティフ・アミナ氏、大仁柔道会の菊池としえ氏が指導を担当された。地元の道場の生徒や一般の方々親子約100組200名が参加した。開会式では西部地区左口幹事長の挨拶に続き、溝口先生の話、アミナ先生・菊池先生の紹介、礼法の話が行われた。座礼については甲冑を着け、刀を差した武士の作法として紹介された。

開会式に続き、ランニングをしながらグループ作りのゲーム、よつんばいになって走る練習や、後ろ回りなどの準備運動を行い、

その後学年によってグループ分けし、ドッチビーで心地よい汗をかいた。

後半はアミナ先生からフランクスの寝技の指導が行われた。また、菊池先生からは基礎練習の指導があった。

回を重ねて6回目になる「めばえ親子じゅうどう教室」ですが、今後も継続し、底辺拡大に役立つことを期待したいと思います。

中部地区

親子柔道教室

平成28年8月28日(日) 9時～11時

静岡市北部体育館

静岡県柔道協会中部地区が女子部会を立ち上げ、その女子部会が中心になって開催する教室が、今回で3回目となりました。参加者も年々増えており、幼児・小学生・保護者の方々、指導員を合わせて、161名を数え、柔道場だけでは手狭になり、急遽、剣道場にまで畳を敷いての大イベントとなりました。

今回の試みは、東海大学付属翔洋高校と中部部の女子学生部員が、柔道を通じた社会体育での現場を経験することと、子ども達と触れ合うことにより、将来、指導者を目指す、きっかけになりうる機会を与えることでした。最初は、戸惑いながらも時間が経つうちに、教員さんからの振る舞いをする女子部員もあらわれ、お姉さんたちの優しい指導に甘える子ども達の笑顔がとても印象的でした。

教室は、コアキッズ体操に始まり、デイズニーの音楽に合わせて運動、受身の指導、最後に柔の形の披露と2時間のメニューは、あつという間に進みました。

教室の締めくくりに、田中秀幸幹事長から、「礼法」の説明があり、肅々とした雰囲気での講となりました。

これからは、親子のスキンシップの機会の提供はもとより子育て等で、一度、柔道の現場から離れ、スリープしている女性を今一度、指導者として迎え入れる方策も一考の余地があるように思いました。

文責：後藤奈美

東部地区

今年度も例年通りエアロビ柔道を実施しました。平成28年4月22日(水)～平成29年3月15日(水) 午後7時15分～8時15分

年間38回実施(一部予定)登録者は60人強、1回平均40人程度が参加している。

また、昨年から始めた「みんなて柔道2016静岡東部大会」を平成28年11月27日(日)に実施した。

東部地区の他の取り組みとしては、親子柔道教室が平成26年から田方郡柔道連盟の望月会長を中心に大仁柔道会と葦山柔道教室で行われている。平成28年9月には教室に参加した母親4人が初段を取得するという成果を上げることが出来た。

女性柔道活性化のための「親子柔道教室」実施について

(1) 導入の経緯

平成22年4月

県柔道協会の重点施策・目標の中で、(2) 女性柔道人口の増加と活性化への方策

ア プロジェクトチームの発定(活動の在り方の検討)

イ 女子昇段資格改正を契機に女性柔道人口の増加を図る

が提出された。

平成22年7月

理事会第二審議会合同会議で平成22年度第1回関東・東京・東海地区女性登録推進会議の報告がなされ、県内の3地区でそれぞれ女性理事が選任された。

(2) 各地区の指導実態

西部地区の実施状況 会場：浜松市武道館

Table with 4 columns: 開催回, 開催日, 講師, 参加人数. Rows 1-6.

中部地区の実施状況 会場：静岡市北部体育館武道場

Table with 4 columns: 開催回, 開催日, 講師, 参加人数. Rows 1-6.

東部地区実施状況 会場：沼津市立沼津高校柔道場

Table with 5 columns: 開催回, 開催日, 回数, 講師, 参加人数. Rows 1-6.

平成22年12月

静岡県少年柔道連絡協議会の中で、女性柔道活性化のための「柔道教室」実施についての趣旨などが発表された。

平成23年5月

県柔道協会の重点施策・目標の中で(1) 女性登録者増加に向けて親子柔道教室の実施地区ごとに年1～2回程度実施する。

将来的には登録に結び付けるが、当面は女性に柔道の良さを体験させることを主眼に置く。

ウ 型通りの指導ではなく、護身術等の要素も取り入れ興味を持たせる指導を。

工 意欲のある者には昇段の機会を与える。

平成23年9月

理事会第二審議会合同会議の中で平成23年度の各地区での親子柔道教室の実施報告がなされた。

平成26年11月

県柔道協会第1回広報普及委員会が開催され、普及部会が新設される。

道場紹介

県内各地でがんばっている「道場」

ひょうかり

を各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

鷹柔クラブ

- ②静岡県富士市大淵2920
- ③〒417-0801
静岡県富士市大淵2844-4
秋山オート商会
0545-35-0019
- ④秋山英生
- ⑤児童2名、小学生22名、
中学生5名、高校生2名、
大学生社会人20名

⑥道場紹介

鷹柔クラブは、平成13年4月に子どもたちに正しい柔道を教えて、中学、高校、大学、社会人になっても活躍できる人間を育てていこうという信念をもって、5人の指導者と3人の小学生で発足しました。発足当初は、富士市立鷹岡中学校の柔道場を借りて活動していましたので、鷹岡の鷹と大空をはばたく鷹にかけて鷹柔クラブとしました。

現在は、富士市立大淵中学校の柔道場を借りて、月、水、土曜日の週3回、夜7時から9時まで幼児から社会人まで、練習に励んでいます。毎月、第二水曜日には、富士市立高校で練習しています。

発足当時より、礼法、挨拶は厳しく教え、受け身、体捌き、すり足、崩しなど、基本練習に



重点を置き、正しい技の入り方、正しい投げ方など、勝つことだけでなく、子どもたちの成長に合わせた正しい柔道を教えることを心がけています。

歴史は浅く、まだまだこれからの道場ですが、熱い気持ちを胸に秘め、指導者一同ががんばっていきたくと思っています。いつの日か、日本武道館の畳の上で、鷹柔クラブの子どもたちが活躍できることを信じて。

富士共栄道場

- ②〒415-0909
富士市松岡2353-1
- ③〒416-0906
富士市本市場124
090-2682-9973
- ④金指邦浩
- ⑤児童1人、小学生20人、
中学生25人、高校生5人、
大学・社会人10人

⑥道場紹介

平成24年4月14日より富士市立岩松中学校校体育館柔道場で毎週、火・木・土曜日の18:30～20:00(年中と小学生)と20:00～21:00(中学生・一般)まで稽古を行っております。2部制で、礼法から体力作り、本格的な技術までの指導をしています。

富士市で元氣いっぱい楽しい柔道をやろう！を合言葉に柔道の師、嘉納治五郎先生の精力善用・自他共栄の精神を基に、柔道の基本である礼法・受け身・基本動作を主とした稽古を日々行っており、元氣な女子・男子が楽しく、厳しく、仲良く、柔道を通して丈夫な身体と強い心を鍛えています。

平成26年全国中体連60kg級に古関夕響が出場、平成27年全国中体連60kg級に井出海輝・90kg級で熊谷健太・90kg超級で下橋颯斗が出場し、特に下橋は全国5位に入賞しました。

また、小学生では平成28年度第13回全国小学生学年別柔道大会に、6年生男子50kg超級で木内銀平が出場しました。団体戦

では9月に行われた「マルちゃん杯全日本少年大会」に中部地区代表として出場することもできました。

柔道を通して仲間を想う心と、自分に負けずに最後までやり抜く力を身に付け健全なる青少年の育成に力を注いでいます。



「ポーツ」の実現を目指し、多種多様のスポーツ教室を開催する事業の一環として、一九七三年に静岡市体育協会のもとに始まりました。

子供から高齢者まで、愛好家が集う、「夜間」の教室として、歴代の教室代表者のバトンを譲り受け、現在は田中秀幸八段の指導のもと、週二日(月・木)、稽古に励んでおります。

教室の運営は、午後六時三十分から、初心者および小学生対象の「一部」が始まり、午後八時からは、中学生・高校生・一般を対象とした「二部」となります。一部では、礼法、基本動作、体力づくりを中心に、二部では、主に乱取となります。近年一部で育った小学生・中学生が、高校・一般となり、道場に戻ってくるようになりました。うれしかぎりです。

教室の運営指針としては、第

静岡市中央体育館柔道教室

- ②静岡市葵区駿府町2の80
中央体育館内
- ③〒420-0854
静岡市葵区城内町4の13
(田中秀幸方)
054-252-5295
- ④田中秀幸
- ⑤小学生10名、中学生3名、
大学社会人30名

⑥道場紹介

静岡市中央体育館柔道教室は、静岡市が掲げる「市民一人1ス



一に、安全と事故防止を徹底し、また、強くなることに執着せず、生涯柔道を目指すような柔道家の育成をモットーとしています。これからも、公営の教室の指導員として恥じぬよう、指導員一同、精進して、また、一人でも多くの柔道愛好家が誕生するように努力してまいります。

静岡南部柔道クラブ

- ②静岡市駿河区曲金3-1-30
- ③〒422-8006
静岡市駿河区曲金3-1-30
(南部体育館事務局)
054-285-1133
- ④茶山和巳
- ⑤児童0人、小学生7人、中学生2人、高校生0人、社会人0人

⑥道場紹介

静岡南部柔道クラブは、公益財団法人静岡市体育協会が主催するスポーツ教室のメンバーからなるクラブです。静岡市駿河区の南部体育館で火曜日と金曜日に活動しています。スポーツ教室ではありませんが、団体・個人共に全日本柔道連盟への登録をして各種大会にも参加しております。

教室は全3期からなり4月から7月が1期、8月から11月が2期、12月から3月が3期となっています。常時3名の指導員がレベルに合わせた指導を行います。また、柔道の技術指導は元より礼節を重んじ精神面でも成長できるような指導を心がけて

います。稽古は毎週2回（火曜日と金曜日）

1部（小学生）午後6時30分から午後7時50分まで
2部（中学、一般）午後7時50分から午後8時45分まで

申し込みなど詳細は、南部体育館窓口までお願い致します。見学は随時受け付けていますので、一度見学に来てみませんか。「楽しみながら強くなる」をコンセプトに活動していますので是非体育館に足を運んでください。



井上柔道クラブ

- ②浜松市中区西浅田2丁目3-1
- ③〒438-0051
磐田市上大之郷13-6
080-51067648
- ④井上ファビオ
- ⑤児童0人、小学生20人、中学生2人、高校生3人、大学・社会人10人

⑥道場紹介

井上柔道クラブは平成23年に

創設されました。ブラジル人を中心に外国籍を持った方が多く参加していることを特徴とするクラブです。⑤で示したように総勢35名で活動しています。

週3回の練習を行っています。月・土曜日は浜松市中区西浅田町の浜松市武道館を借りて、日曜日は磐田市見附の磐田市総合体育館の道場を借りて練習しています。月・土曜日の練習は午後7時から9時まで、日曜日は午後5時から7時までで行っています。

月1回近隣の中学生や高校生を集めて合同練習を開催しており、互いに柔道の技術を高めあっています。そして、この合同練習は子どもたちにとって良い国際交流の場にもなっています。

井上ファビオ先生（3段）を中心に多くの協力者の力をいただき、日々生徒の柔道の向上に



励んでいます。クラブの特徴として日本語とポルトガル語、2か国語で柔道を教えています。また、多くの柔術の選手がクラブに集まり、寝技を重視した練習を心がけています。

礼儀の大切さを生徒に教えることを一番に考え、生徒のそれぞれの個性を生かした教え方を先生と先輩たちが共に考えています。初段以上の生徒に後輩を教えさせることで自分の勉強にもなり責任を持てるようになります。そのような教え方で5年間やってきました。来年も生徒がそれぞれ持つ課題を解決するために、先生や先輩方と一緒に考えていく方針でやっていきたいと思っています。

これからも、学生や一般の人が新しくクラブに入ることを願い、一人でも多くの柔道が続ける選手が育つように指導していきたいと思っています。

大須賀柔道クラブ

- ②静岡県立横須賀高校柔道場
- ③〒439-0019
菊川市半済1162-8
090-7699-5907
- ④鈴木啓祐
- ⑤児童4人、小学生8人、中学生4人、高校生4人、大学・社会人9人

⑥道場紹介

平成18年に旧大須賀町に児童の健全育成を目的とした大須賀柔道クラブを立ち上げました。昨

年10周年を迎え、個性豊かなクラブとなりました。

練習は週3回（火曜日・木曜日・日曜日）午後7時から9時まで、それぞれが目標に向かって、時には涙を流し時には喜びを感じ稽古に励んでいます。

また、月に1回のボランティア活動や、年に数回行われる親睦会があり、子供から大人までが楽しんで参加しています。今後も結果だけでなく、努力する厳しさや喜びを教え、個々の個性を大切に、柔道を通じて色々な事を経験し学び、多くの人に愛される柔道人を育てていけるように指導したいと思っています。



新人選手紹介コーナー

今年度もこのコーナーを継続することができた。全国大会で3位までに入賞した若い選手（高校生以下の選手）を紹介しているコーナーで、今年度は8名の選手が該当した。昨年の4名を大きく上回りよく頑張ってくれました。特に女子選手の活躍が顕著でした。女子団体の藤枝順心高校もコメントをいただきました。



初段 守重裕斗さん
(鹿島学園高等学校浜松キャンパス)

平成28年度第47回全国高等学校定時制通信制柔道大会男子90kg級 2位

お父さんと弟さんと近所の「日本一狭い道場」と書いてあった道場を見学に行き、多くの道場出身者が強豪校に進学していることを知り興味を持ったそうです。強くなりたかったんですね。

今回の結果については、「優勝を目指していたので悔しいの一言です。ただ、相手も同じ気持ちだと思おうので、相手の方が少しだけ思いが強かったのだと思います。今年は必ず優勝したいと思う。」と語ってくれました。

将来は、「進学して多くのことを学び、できれば柔道の楽しさを伝えるような社会人になりたいと思います。」と夢を語ってくれました。

監督の岩田先生からは、「本校は通信制高校のため、学校での練習は難しく、自ら相手を求めて出稽古をしていますが、柔道が大好きな生徒で、優しくて練習熱心であり将来は良い指導者になると思います。今年こそは日本一になってほしいものです。」と期待されています。

守重君は個人戦だけでなく団体戦の選手としても活躍し、静岡県チームの主力として活躍し、全国3位入賞に貢献してくれました。日本一を目指してがんばってください。



初段 渋谷舞さん
(東海大学静岡翔洋高校)

平成28年度全日本カデ柔道体重別選手権大会48kg級優勝、ドイツカデ国際大会48kg級優勝

渋谷さんが柔道を始めたきっかけは「兄が柔道をやっていて、それを見て始めました」ということで、本当によくあるケースです。今回の成績については以下のように語ってくれています。「今回これらの大きな大会で結果を残すことができたのは冷静になって足技を使いながら前に出て攻め続けるという自分の柔道ができたからだと思います。試合では絶対負けたくないという気持ちで戦うことができました。そして、毎日の練習で指導してくれる先生、支えてくれる両親、周囲の方々への感謝の気持ちを忘れず、さらに上を目指して一生懸命頑張りたいです。」冷静に分析することができ素晴らしい選手だと思います。

今後の希望としては、「一つ一つの試合を集中して戦っていききたい。ジュニアで戦えるように練習の時から自分に負けないように頑張りたいです。将来は東京五輪を目指して、世界で通用する選手になりたい。」と決意を語っています。



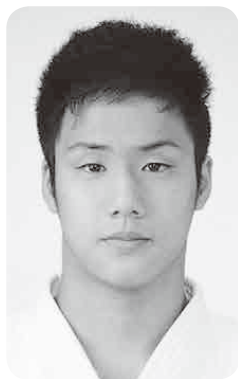
初段 伊藤七海さん
(藤枝順心高校)

平成28年度全国高等学校総合体育大会女子78kg級2位

柔道を始めたきっかけは「何気なく見学に行ったら楽しそうだったから」ということだそうです。

今回の入賞に関しては「優勝することが目標だったので悔しいです。あと一つ手が届かなかったのは自分に甘さがあったからだと思います。しかし、中学校時代何の結果も無かった私が高校に入り全国で少しずつ勝てるようになったのは、先生や家族・仲間等多くの人の支えがあったからです。感謝の気持ちを忘れず、自分の課題を克服していききたいです。」と、謙虚に語ってくれました。

今後の目標は「大学で日本一」だそうです。がんばってください。



初段 小笠原一貴さん
(藤枝明誠高校)

平成28年度全日本カデ柔道体重別選手権大会男子73kg級3位

小笠原君が柔道を始めたきっかけは「兄の練習を見ていて、自分ならもっと強くなれると思ったから。」ということ、強気な性格が見えるようです。

今回の入賞に関しては「この大会は2回目の挑戦であった。大会前に怪我をし、復帰後初めての試合で不安はあったが、『運と周囲の支え』が結果につながった。感謝の気持ちでいっぱいです。」と感謝の気持ちを語っています。

今後は「大学に進学し多くのことを学びたい。柔道選手としても人間としても大きく成長したい。」と前向きに夢を語ってくれました。

顧問の野々山先生は「素直な性格で熱心に取り組んでいる。地力と対応力を向上させるため更なる努力を」

期待する。挑戦する気持ちを常に持ち続けてほしい。」と熱いエールを贈っています。



初段 袴田佳名瑚さん
(浜松市立浜北中部中学校)

平成28年度全国中学校柔道大会女子52kg級2位

袴田さんが柔道を始めたきっかけは「父が柔道をやっていて、年長の時に見学をしに行つて楽しそうだったのでそこから柔道を始めました。」ということ、経験年数は非常に長い選手ということになります。

今回の入賞に関しては「目標は優勝だったので悔しいです。私がおこまでこられたのは今まで支えてくれた先生・仲間・家族など多くの方々に支えられていたからだと思うので感謝の気持ちでいっぱいです。中学では全国制覇が出来なかったのですが、高校では優勝できるよう一日一日の練習を大切にしていきたいです。」と非常に前向きにとらえています。

今後の夢は「藤枝順心高校に進学し、頑張ります。将来はオリンピック選手になって一番高い台の上になりたいと思っています。」と大きな夢を語ってくれました。

顧問の川合先生は「何事にもまじめに取り組める生徒であり、特に柔道では常に目標を持ち、その目標達

成のために努力を続けられる選手です。今回は本人の目標を達成することが出来なかったが、次のステージではその目標を達成するために更なる努力をし目標を達成してくれることを信じています。」と温かい言葉を贈っています。



初段 百田久佳さん
(藤枝順心中学校)

平成28年度全国中学校柔道大会女子57kg級3位

百田さんが柔道を始めたきっかけは次のようなことだそうです。「小さいころ身体がとても弱くて身体を強くするために母がやっていた柔道をしようと思ったのがきっかけです」前向きに挑戦したのでですね。

今回の結果については「1回戦から厳しい戦いが続きましたが、何とか準決勝まで勝ち上がったことが出来ました。準決勝では、自分の柔道が出来なくて負けてしまったのでとても悔しかったです。初めての全国という大舞台でも緊張しましたが結果を残すことができたと思います。」と感想を語ってくれました。

今後の夢は「高校では中学の時よりも良い成績が残せるようにこれらの練習を今まで以上に必死でやっけていきたいです。またその後、大学に進学し中高とは違った環境の中で

自分を成長させ、教員免許を取得し中高の学校に就職して指導者になりたいです。」と非常に具体的にしっかりとしたものを持っています。顧問の沼野先生からは「中学校1年生から親元を離れ寮生活は大変なことかもしれないかもしれませんが、その分メンタル面が成長でき、そのメンタル面での強さが今回の結果につながったと思います。高校でも頑張つてほしいと思います。」と励ましの言葉を贈られています。



初段 米川明穂さん
(藤枝順心中学校)

平成28年度全国中学校柔道大会女子70kg超級優勝

米川さんが柔道を始めたきっかけは「姉が柔道をやっていて自分も興味を持ちやり始めました」ということでよくあるケースです。

今回の優勝については「緊張し、自分の柔道がなかなかできなくて危ない場面やポイントを取られた場面がありました。そこを『絶対に勝つ』という気持ちで向かっていき、危ない場面でも、ポイントを取られた場面でも勝ち切る事ができました。大舞台で結果を残す事ができてよかったです。」と述べており、気持ちを強調しています。今後は「高校ではインターハイに

出場し、自分の柔道をして優勝したいと思います。」と高校での活躍を期しています。

顧問の沼野先生からは「怪我をし、万全な状態で臨むことが出来なかったが全国大会では精神力だけで戦っていました。彼女自身が今回の試合を通して学んだことがこれからの柔道人生に生かされていくと思います。頑張つてほしいです。」と冷静に分析しアドバイスを送っています。



森近 颯さん
(和道場)

平成28年度全国小学生学年別柔道大会5年女子40kg級3位

森近さんが柔道を始めたきっかけは「和道場のポスターを見て『やってみよう』と思い体験に行ったら楽しかったからです」ということで、道場としては理想的なケースだと思っています。

今回の結果については「全国大会3位なんて思ってもみなかったのですが、びっくりしたのうれしい気持ちがありました。」と素直に語ってくれました。

今後の夢は「来年は全国大会で優勝をしたいと思います。夢はオリンピックに出ることです。」ということぜひ実現してください。指導されている新村先生からは

「初めての全国大会で緊張とプレッシャーがあったと思いますが、それはねのけ3位という結果を残すことが出来良かったと思います。今回の結果に満足せず、もっと上を目指して日々の練習に励んでもらいたいです。」と、温かいコメントをいただいています。

藤枝順心高校

第38回全国高等学校柔道選手権大会 女子団体 3位

- 菊池涼音さん
- 水野瑚春さん
- 伊藤七海さん
- 梶田珠未さん

選手を代表して、水野さんよりコメントをいただきました。「選手がそれぞれの役割を果たし、チーム一丸となって試合に臨み結果を出すことができ、うれしく思います。しかし、自らの実力不足を感じさらに努力しなければならぬと思いました。チームとして日本一を目標に頑張りたい。」

顧問の沼野先生からは「中学時代に大きな実績もないメンバー達が全国3位という結果を残してくれたことはとても立派なことだと思います。彼女達の頑張りが『努力は決して裏切らない』ということを証明してくれました。今後もそれぞれの目標に向かって頑張つてほしい。」と選手たちに賛辞を贈っています。

訃報



高柳喜一 八段

平成29年1月5日御逝去
行年79歳

高柳元会長は、静岡県立浜松商業高等学校柔道部時代から有力選手として活躍され、インターハイや国体などの全国大会に出場されていきました。高校卒業後も柔道を続け、多くの輝かしい実績を残しておられます。

企業人としても、株式会社高柳喜一商店や有限会社武興を経営し、武道振興に尽力されました。柔道協会の役員としては、平成2年から静岡県柔道協会副会長（西部地区幹事長）として西部地区の協会運営に尽力されました。そして、平成11年からは静岡県柔道協会会長として静岡県柔道界の運営にその手腕をいかんなく発揮されました。

特に、平成15年に高柳先生の地元、浜北市で開催された「NEW!!わかふじ国体」の成功に大いに尽力されました。国体の前年に開催された全国教員大会の開催や、三地区対抗戦の開催、マルちゃん杯の開催など永年に

わたり、国体成功に向けてきめ細かく準備を進められました。まさに企業人としての経営センスがいかに発揮されたものと思います。

また、平成16年には第1回全日本マスターズ柔道大会を国体が行われたあのグリーンアリーナで開催しました。世界につながり、多くの柔道人が参加する生涯スポーツとしてのマスターズの第1回大会でした。この大会も高柳先生の尽力で実現したものであります。

高柳先生は、平成16年に静岡県体育協会体育功労章、平成17年には文部大臣表彰、平成26年には旭日双光章を受章されました。

仕事の合間に養神館植松道場で後進の指導を行っていらっしゃいました。また、静岡県柔道協会名誉会長、静岡県体育協会顧問、全柔連顧問など多くの役職も務めておられました。まさに静岡県のスポーツ界の重鎮として活躍されました。

高柳先生のご冥福をお祈りします。



旭日双光章受章祝賀会にて



佐野 始 七段

平成28年8月24日御逝去
行年72歳

山梨県出身。身延高校卒業後、国士舘大学を経て静岡県警察機動隊に奉職されました。温厚な人柄は、誰からも好感を持たれ、人望が厚い方でした。

柔道の感性は際立っており、小柄な体でありながら、相手の心理を読みとり、左組み手から繰り出す背負投で、大柄で強い相手を投げ飛ばす様子は圧巻であり、まさに「柔よく剛を制す」そのものでした。

高校三年次の全国高校総体個人軽量級で準優勝、県警では国体出場4回という輝かしい戦績を持ち、地元山梨では怪童と呼ばれていたようです。

退職後は、各駐在所の巡回指導者として、後輩の指導にあたり、忙しい日々を送られていました。最近では、富士宮柔道会の子供達に柔道の指導をしていきたいと話されていました。その願いも叶いませんでした。

突然の訃報に私たち柔道会のだれもが心を痛めています。先生の教えや先生のことをいつまでも忘れません。ありがとうございます。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。（富士宮柔道会会長 小林 賢治）



吉川博智 七段

平成28年7月3日御逝去
行年70歳

沼津市立高校に入学以来、故高原富夫先生に先生に師事し柔道の世界に踏み入ることになりました。

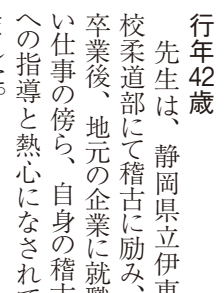
静岡県柔道協会理事、沼津柔道連盟会長等要職に就きながら、沼津市民体育館柔道教室を40年以上にわたり指導・育成されました。少年柔道への情熱は熱く、柔道をよく理解した豊富な知識によつて、基礎・基本を大切にする指導をされました。

熱血指導ながらも卒業した多くの教え子から敬愛される御人柄です。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（沼津市民体育館 田中隆）



多久島一貴 四段

平成28年6月3日御逝去



中林忠史 四段

平成28年5月18日御逝去
行年54歳

先生の先生は温厚ですが、ひとたび道着を着て指導に当たると声を張り上げ子供たちに稽古をつれておられました。その姿が、周りの仲間信頼され慕われておりました。

また、東部柔道連盟の理事として貢献されておられました。五月末に突然の病に倒れ、あまりにも早い旅立ちに無念でなりません。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（伊東柔道会 鈴木 尚・秋山）



中林忠史 四段

平成28年5月18日御逝去
行年54歳

中林先生は、大学卒業後、愛知県での講師を経て静岡県立下田南高等学校（現下田高校）に社会科（専門は日本史）教諭として赴任されました。以後、県立気賀高校（現浜松湖北高校）、浜松

市立高台中学校、浜松湖南高校、浜松北高校に奉職されました。

柔道との関わりは、ご実家近くにある道場へ通われたことから始まったと伺っております。また教員生活の始まりとともに柔道部顧問として活躍され、全国高校選手権女子個人戦に出場する選手を育てました。柔道協会との縁ができたのもこの頃だったと記憶しております。柔道協会においては、西部地区事務局の一員としてご尽力いただき、近年は形講習会の講師(投の形)を長年務められました。私は八年間、浜松湖南高校で一緒に過ごさせていただきました。明るく、ユーモアのある独特の語り口調、日本史に関する博学さ、生徒への細やかな配慮、生徒指導主事として淡々と業務を遂行される姿がすぐさま思い起こされます。普段から先生がおっしゃっていたことで印象深いのは、「僕は、部活の指導をするのが当たり前だと思っている」という言葉です。教員としては至極当然のことなのですが、その当然のことを長年継続していくことができる人こそ、本当の努力家です。中林先生は、まさに努力家であり、常に柔道に真摯に向き合い、積極進取の人であったと感じております。だからこそ多くの卒業生が先生を慕っているのです。

今回の計報に接して、当初はまったく信じられませんでした。つい先日、事務局の業務をした際、新天地で水泳部顧問として日焼けされた姿に驚いたという記憶があります。健康そのものでいらっしやう

た姿を思い起こすたびに、鬼籍へお入りになったことが残念で仕方がありません。それだけ存在が大きかったのだと、改めて気づかされた次第です。

中林先生のご冥福をお祈りします。

(前浜松湖南高校柔道部顧問 増尾 清己)



齊藤 剛 七段

平成28年8月8日御逝去
行年76歳

先生は北海道の出身で寒さ厳しい土地に育ったという。そのためか物事に対して忍耐強く、くじけない精神を持ち合わせていた。気候温暖の静岡へ来てからもその気持ちは変わることなく柔道を通して交流させていただいたが、様々な場面で先生の不屈の精神が感じられた。

静岡市立の中学校で社会科の教員として教鞭をとり、部活動においては柔道部顧問として生徒指導に情熱を持ってあたった。数多くの名選手を育て、その指導力は高い評価を得ている。

静岡市中学校体育連盟柔道部長(昭和五十二年から二年間)や静岡県中学校体育連盟柔道部長(昭和五十二年から二年間)や静岡

和五十二年から十一年間)としてその任にあたり、選手強化、普及に尽力した。とりわけ昭和六十二年に全国中学校柔道大会が地元静岡県で開催された際には総指揮をとり、細部にわたり気配りを見せ選手、観客を第一に考えた進行に務め、大会を大成功に導いた功績は大きい。

さらに静岡県柔道協会や静岡市柔道連盟役員、審判員として組織の中で柔道発展に尽力し、永年の功績が認められ公認スポーツ指導者として平成十八年に日本体育協会から全国表彰を受けている。中学校教員定年退職後も県柔道協会や市柔道連盟に関わり、柔道人口増大に向けて公立中学校柔道部コーチ、公立体育館夜間柔道教室指導員として児童・生徒に對して献身的に汗を流した。

お酒が好きで柔道仲間らと機会あることに懇親会に参加し、飲むほどに酔うほどに多弁となり楽しそうに歓談していたのを思い出す。

中学校の運動部活動の指導者が減っている中で、社会科という教科でありながら専門家として中学校における柔道の発展に寄与された先生のご功績は大きく、先生のご尽力を無駄にすることなく我々これからも柔道の普及発展に務めていくことをお誓いいたします。

どうぞ安らかにお休みください。(静岡県柔道協会中部地区幹事 長・田中秀幸)



赤池進司 八段

平成28年9月16日御逝去
行年69歳

先生は中部地区や県協会のご意見番として、いつも正論を説き我々を助けてくれていた。一級審査、月次試合、形講習会、昇段審査会など中部地区の行事にはいつも早々と会場に来て準備にあたりました。大きな身体を動かして細かいところまで気配りしていた。受験者ファーストの考え方をもち、これらの諸行事を通して生徒を指導・教育されていた。あの指導が今後聞かれないと思うと誠に残念である。

先生は高校時代から柔道を習い始め、全国的大会に出場するなど活躍した。日本大学へ進学しその実力をさらに磨いた。静岡県へ戻り県警察官として奉職され、勤務の傍ら各種大会に出て活躍した。選手を退いてからは職務を務める一方、全柔連公認Aライセンス審判員として各種全国大会の審判にあたった。

また静岡市柔道連盟理事、同副会長、静岡県柔道協会理事、同審議部長としてその手腕を発揮されており、これからの組織改革の中で先生の能力に期待するところが大きかっただけに突然の別

が残念でたまらない。先生は話が好きで、大会や会議の空き時間には仲間と歓談し、時折冗談を言っては周囲を笑わせていた。博識で我々に色々なことを教えてくれた。また美味しいものに目がなく、何処の店の何が美味しいとかよく知っていて、自分自身でその店へ足を運び購入していたとか、人間味溢れる先生であった。本協会は、大きな目標に向かって活動し始めたばかりであり、先生の力量発揮の場面であったが、それを前にしてのご逝去は残念でならず、また先生もさぞご無念であったかと思う。これまでのご貢献に感謝しつつ我々は力を合わせて取り組むことをお誓いいたします。どうぞ安らかにお休みください。(静岡県柔道協会中部地区幹事 長・田中秀幸)

今年も多くの方々の計報を掲載することになりました。皆さんまだまだこれからの先生方ばかりです。お互い健康には十分注意してくださいませよう。各先生方のご冥福をお祈りします。



ア 柔道人口拡大策の研究・実施

イ 女性指導者増員及び活用のための事業 親子柔道教室事業、女性登録推進委員会等が目標とされる。

(3) 指導の経緯と内容(東部地区を中心に)

柔道の基本(礼法や受身)・技(寝技や立技)・形を工夫し、日常生活に生かすことが三地区の共通点でした。

東部地区は「エアロビ柔道」を毎週水曜日、1年間通して続けました。「エアロビ柔道」は昭和63年、西ドイツのエッセンで行われた「世界柔道選手権大会」のエキシビジョンゲームをヒントに、私が沼津市立高校柔道部のトレーニングの一つとして工夫を重ねてきたものです。東部地区役員が一丸となり、父母の昇段に結び付けたのでご報告いたします。

第1回の教室は平成23年5月11日(水)、雨天の中参加者19名は沼市高柔道部員の母親が中心でした。初年度は40代の女性を中心で、最年少は2歳でした。対象者は老若男女年齢制限なしでした。年間受講者延べ183名(年間30回、登録45人・一回平均61人)でした。

2年目は受講者が減少し参加者ゼロの日もありました。参加

者が激増したのは4年目でした。私の教え子から話が広がりグループ単位で参加者が増加しました。中年の女性はグループで行動することが多く、ネズミ算式に増加していきました。年金受給者にとつて無料で参加できることも魅力であったこともわかりました。問題点としては、1〜2回しか来ない人がいることと保険を自己加入としたことでした。(これらは平成28年度から年間保険代を一人500円徴収することで解決しました。)平成26年は節目の年でした。「エアロビ」柔道の受講者急増に合わせるかのように、田方郡柔道連盟の望月会長を中心に「親子柔道教室」が大仁柔道会の菊池四段(水曜日)・葦山柔道教室の斎藤七段(木曜日)によって始められました。この活動と平成27年から始めた『みんなで柔道』が好作用をもたらしました。大会に参加した母親の中から5人の初段合格者が出ました。合格者の皆さんは、平成28年9月の東部地区審査会で、幹事長から昇段証書を授与されました。これは田方郡柔道連盟の取り組みと高柳先生の理想が実現したものと云えます。

普及部会責任者 東部地区

根本谷信一

丸山さん親子に感謝状

平成28年3月3日付けの中日新聞で次のような記事が掲載されました。「火災から女性救助、菊川署と菊川市消防本部は丸山さん親子に感謝状」

内容は、西部地区の丸山博行さんと長男で大学4年生の大樹さんが、小笠高校柔道場での練習から帰宅する途中で納屋の火災を発見し、隣の母屋にいた女性(84歳)を救助するとともに自家用車などを避難させた、ということでした。2人の活動で消火活動が迅速に行われ、隣家への延焼も防ぐことができたという評価され、表彰されました。「たまたま通りがかり、当然のことをしただけです。」博行さんは語っているが、丸山さん親子に対して大いに拍手を贈りたい。

平成28年度講道館『形』東海地区講習会

平成28年5月8日(日)

浜松市武道館

午前9時45分から開会式が行われた。高田会長の挨拶に続き、指導者を代表して尾形敬史八段

(柔の形担当)から挨拶があり講習会が始まった。今回の講習会の指導者は、尾形氏のほか村田直樹八段(古式の形担当)・長谷川育男八段(極の形担当)・山本三四郎七段(投の形担当)の3名が務めてくれた。参加者は東海地区『形』競技大会の各県参加者・審判員と、地元静岡県からの希望者で総勢百名弱であった。

各形に分かれて午前午後と充実した講習会が行われた。投げの形に参加させていただいたが、いろいろな面白い指摘があった。例えば投げの形の背負投は背負投げといいながら実際は一本背負いであることは良く知られている。これはかつての柔術の名残があり、本当は関節を極めて投げていた技が元になっている。そうで、いわゆる一本背負いではないという指摘は新鮮だった。最後に各形を代表者に演技していただいた。東海大会に出場する選手達だと思われるが、見事な形であった。

閉会式では、村田直樹先生から講評があり、受講生の真剣な取り組みに対して誉めの言葉をいただいた。充実した一日を過ごすことができました。

西部地区形講習会

西部地区の形の講習会が9月11日(日)浜松市武道館にて審査会終了後実施された。講師には浜北柔道協会(JR東海ツアーズ)の森田氏が担当された。今年度は固の形が行われ、森田氏の指導のもと西部地区の指導者が講習を受講した。

編集後記

柔道しずおか20号をお届けします。今年度は訃報が多く、本当に残念でなりません。お亡くなりになられて各先生方のご冥福をお祈り申し上げます。

リオオリンピックで日本柔道は素晴らしい成績を残し、東京大会に大きな期待を抱かせてもらいました。2020年に期待したいと思います。静岡県関係の選手が活躍することを期待します。

柔道のルールが一部変わるようです。特に「有効」・「合わせ技一本」がなくなることで、反則では勝負が決しないこと、試合時間が短くなる等、大きな変更が行われるようです。柔道からJUDOになり、仕方がない面もありますがしっかりと対応しましょう。

柔道しずおか編集担当 宮崎貞夫